

保険論		講義	教授 矢島 格	
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 専門選択科目	科目ナンバリング	23020205	

1. 授業のねらい・概要

現代社会では多くの種類のリスクが存在しており、そうしたリスクは今後より一層複雑化・高度化していき、リスクがもたらす被害を予測することがますます難しくなっていくだろう。こうしたなかで、私たちが生活するうえで、リスクによる損失への対応に果たす保険の役割はますます重要になる。

この授業では、保険の基本的なしくみについて学修することを通じて、保険という金融商品や機能が、学生諸君のこれからの人生設計をより豊かなものにするために役に立つものであることを理解してもらおう。また、この授業のアプローチとしては、保険を金融システムの枠組みのなかで捉えるというスタンスをとっている。

なお、本科目の履修にあたっては、「ファイナンス入門」と「FP 概論」を履修しておくことが望ましい。

2. 授業の進め方

テキストを使いながら、保険の基本的なしくみや保険に関する最近の諸問題・諸課題について講義形式で説明する。なお、必要に応じて、新聞・雑誌の記事などから具体的な出来事を取り上げて実践的で実用的な説明も行う。

3. 授業計画

1. 暮らしの中の保険	8. 生命保険商品
2. 保険の原理	9. 火災保険
3. 保険の歴史	10. 自動車保険
4. 現在の保険制度	11. その他の保険
5. 保険契約者の保護	12. 社会保険
6. 金融機関としての保険会社	13. 新しい保険の登場
7. 保険会社の経営課題	14. 私たちの生活設計と保険
	15. まとめと復習

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。なお、これらの準備学修には、2時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポート提出時に採点・評価のポイントを説明する。

6. 授業における学修の到達目標

保険の基本的なしくみを知り、現代社会における保険が果たす役割の重要性が理解できる。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取組み姿勢（50%）およびレポートの結果（50%）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストは、授業開始時までに指定するので毎回の授業に必ず持参すること。また、参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

受講の要件としては、金融・ファイナンスの基礎知識があることが望ましいが、そうでない場合も、理解できるように説明する。疑問や不明な点については、遠慮なく質問してもらいたい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、金融機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。